

第2回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の概要

1 日 時 平成29年10月2日（月）15：00～16：45

2 場 所 富山県民会館6階 611号室

3 議 事

- (1) 食品ロス・食品廃棄物実態把握調査の結果について（最終報告）
 - ・家庭系食品ロス・食品廃棄物実態把握調査結果
- (2) 食品ロス等の削減に向けた県の施策の進捗状況等について
- (3) 食品ロス等の削減に向けた県内の取組事例について
- (4) 食品ロス等の削減に向けた今後の重点的な取組みと目標の設定について
- (5) 今後のスケジュール

4 主な意見の概要

- ・ 自分たちの会社がどの位の食品ロスを出しているのか知ってもらうことが周知や啓発につながるため、製造業者へのアンケート調査を実施した。商習慣による1/3ルールのようなものを柔軟にしてほしいという意見が多く出た。
- ・ 環境省のホームページに3010運動の三角柱が掲載されており、これをプリントアウトしてテーブルに立てておくと、興味を持ってもらえる。3015運動の三角柱もあれば良い。
- ・ 若い人に限らず、ベテランの主婦が陳列棚の後ろから期限の新しいものを取っていく傾向もある。消費者は賞味期限や食品ロスの現状についてしっかりと認識し、行動することが重要であり、啓発活動に力を入れていくことが大事である。
- ・ 消費者、事業者、行政がそれぞれの立場で努力するとともに、連携していくことが重要である。
- ・ フードチェーン全体から消費者までの連携、家庭内連携、県と市町村の連携、それぞれが連携して進めなければ、この問題は解決しない。それぞれの団体、市町村においても、いかに一般消費者、県民に発信していくか、その機会をどれだけ多く持つかが重要である。
- ・ 出前授業が普及・啓発をするうえで非常に有効。出前授業ができるアドバイザーを養成して周知を図っていくことも必要ではないか。